



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月4日

上場会社名 朝日放送株式会社 上場取引所 大  
 コード番号 9405 URL http://asahi.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)協阪 聡史  
 問合せ先責任者 (役職名)経理局長 (氏名)角田 正人 TEL 06-6458-5321  
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	18,264	△2.8	261	△60.0	383	△47.7	147	△40.8
23年3月期第1四半期	18,785	0.0	655	260.9	732	162.7	249	93.8

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 98百万円(—%) 23年3月期第1四半期 △83百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	3.62	—
23年3月期第1四半期	5.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	91,242	56,119	58.0
23年3月期	93,139	56,273	57.0

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 52,914百万円 23年3月期 53,079百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	4.50	—	5.50	10.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	4.50	—	4.50	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	37,100	△1.6	600	△5.6	700	△5.2	400	74.9	9.80
通期	76,200	△0.6	3,700	2.6	3,900	4.0	2,300	△5.7	56.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 有

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年3月期1Q	41,833,000株	23年3月期	41,833,000株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	996,087株	23年3月期	996,087株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年3月期1Q	40,836,913株	23年3月期1Q	41,678,485株
----------	-------------	----------	-------------

・当社は、平成22年7月1日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。

平成23年3月期第1四半期の期中平均株式数は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
2. 当社は、平成22年7月1日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。平成23年3月期第1四半期の1株当たり四半期純利益は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

(参考) 平成24年3月期の個別業績予想 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	30,600	△2.0	300	△17.3	400	0.2	200	37.0	4.90
通期	63,100	△0.6	2,400	4.0	2,500	9.2	1,500	△18.0	36.73

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）連結経営成績に関する定性的情報	2
（2）連結財政状態に関する定性的情報	3
（3）連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表等	5
（1）四半期連結貸借対照表	5
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
（3）継続企業の前提に関する注記	9
（4）セグメント情報等	9
（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
（6）重要な後発事象	9
4. (参考) 四半期財務諸表(個別)の概要	10
（1）個別経営成績	10
（2）個別財政状態	10
（3）個別売上高の内訳	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成23年4月1日から、平成23年6月30日まで)の日本経済は、震災によるサプライチェーンへの影響や、自粛ムードによる消費マインドの低迷などがあり、また、海外においても欧米諸国の財政・金融問題や、資源価格の上昇などの懸念材料がありました。

このような経済環境のなか、当社グループにおきましては、震災による直接的な人的・物的被害はありませんでしたが、CM出稿量の減少や、イベントの休止、ゴルフ場への来客数減少などの影響を受けました。

当社グループが主力事業を展開する放送事業においては、テレビスポット収入が前年同期の実績を下回るなどの要因で減収減益となりました。ハウジング事業においては、震災の影響が軽微に留まり、増収増益となりました。ゴルフ事業においては、震災による自粛ムードが高まり、減収となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は182億6千4百万円となり、前年同期に比べて5億2千1百万円(△2.8%)の減収となりました。

また、営業利益は2億6千1百万円となり、前年同期に比べて3億9千3百万円(△60.0%)の減益、経常利益は3億8千3百万円で3億4千9百万円(△47.7%)の減益となりました。法人税等を加減した結果、四半期純利益は1億4千7百万円となり、1億1百万円(△40.8%)の減益となりました。

セグメントごとの業績は、以下のとおりです。

## [放送事業]

当第1四半期連結累計期間における放送事業の売上高は158億8千2百万円となり、前年同期に比べ6億5百万円(△3.7%)の減収となりました。震災の影響によるCM出稿のキャンセルや延期などがあり、主力のテレビスポット収入が前年同期に比べて8.5%の減収となったことが大きな要因です。また、催事関係では原発事故の影響で海外からの出演者が来日できなくなるなどして、いくつかのイベントが中止となりました。

一方で、テレビタイム収入は前年同期を上回って堅調に推移し、期首に一旦大きく落ち込んだテレビスポット収入も6月には前年同月比で増収となり、復調を見せました。

また、売上高の減少に伴う代理店手数料の減少などの要因で、営業費用は0.8%減少しましたので、営業利益は9千7百万円となり、4億4千7百万円(△82.1%)の減益となりました。

## [ハウジング事業]

ハウジング事業の売上高は21億7千7百万円となり、前年同期に比べ9千2百万円(4.4%)の増収となりました。震災による影響はさほど大きくなく、主力事業の住宅展示場運営において空区画への新規出展誘致などが功を奏し、増収となりました。

売上の増加に伴い営業費用も1.7%増えましたが、営業利益は1億7千4百万円となり、5千1百万円(42.5%)の増益となりました。

## [ゴルフ事業]

ゴルフ事業の売上高は2億3百万円となり、前年同期に比べ7百万円(△3.7%)の減収となりました。震災による自粛ムードが高まり、来客数が減少しました。

一方、営業費用は4.2%減少しましたので、営業損失は1千万円となり、2百万円の改善となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ13億4千8百万円減少し276億2千3百万円となり、固定資産は5億4千8百万円減少し636億1千9百万円となりました。資産合計は18億9千6百万円減少し912億4千2百万円となりました。

運用目的の有価証券が満期償還され、売掛金の回収が進みましたが、一方で未払金などの支払いを行うことにより現預金が流出しましたので、資産全体としては減少しました。

（負債）

流動負債は14億6千7百万円減少し82億5千9百万円となり、固定負債は2億7千5百万円減少し268億6千3百万円となりました。負債合計は17億4千2百万円減少し351億2千3百万円となりました。

負債が減少した主な理由は、主に未払法人税や未払金の支払いを行ったことによるものです。

（純資産）

純資産合計は1億5千4百万円減少し561億1千9百万円となりました。四半期純利益1億4千7百万円を計上する一方、剰余金の配当2億2千4百万円を行いました。また、保有する投資有価証券の時価が下落したため、その他有価証券評価差額金が減少しました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

東日本大震災の影響により、厳しい事業環境が続くものと見込んでおりましたが、主力の放送事業においてテレビスポット収入が当初の予想を上回る水準で推移するなど、堅調な回復を見せております。

こうしたことから第2四半期累計期間および通期の売上高、営業利益、経常利益および当期純利益の見通しにつきましては、本日付け発表の別紙「業績予想の修正に関するお知らせ」の通り、個別および連結ともに、平成23年5月13日に決算短信で公表した予想を上方修正いたしました。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(株式の分割)

当社は、平成22年7月1日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。平成23年3月期第1四半期の1株当たり四半期純利益及び期中平均株式数は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

## 3. 四半期連結財務諸表等

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,906	8,020
受取手形及び売掛金	11,887	11,515
有価証券	5,839	5,139
たな卸資産	1,199	1,062
その他	2,189	1,905
貸倒引当金	△51	△20
流動資産合計	28,972	27,623
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	23,293	23,098
土地	10,718	10,984
その他（純額）	10,234	9,821
有形固定資産合計	44,245	43,904
無形固定資産		
のれん	66	58
その他	1,275	1,148
無形固定資産合計	1,342	1,207
投資その他の資産		
投資有価証券	10,994	10,890
その他	7,609	7,641
貸倒引当金	△24	△24
投資その他の資産合計	18,579	18,507
固定資産合計	64,167	63,619
資産合計	93,139	91,242

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	20	20
未払金	5,323	4,851
未払法人税等	676	105
引当金	168	295
その他	3,537	2,986
流動負債合計	9,726	8,259
固定負債		
長期借入金	2,010	2,005
退職給付引当金	10,946	10,985
引当金	237	237
負ののれん	173	130
その他	13,771	13,505
固定負債合計	27,138	26,863
負債合計	36,865	35,123
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,299	5,299
資本剰余金	3,610	3,610
利益剰余金	44,242	44,165
自己株式	△500	△500
株主資本合計	52,651	52,574
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	428	339
その他の包括利益累計額合計	428	339
少数株主持分	3,193	3,205
純資産合計	56,273	56,119
負債純資産合計	93,139	91,242

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	18,785	18,264
売上原価	12,274	12,437
売上総利益	6,510	5,826
販売費及び一般管理費	5,855	5,565
営業利益	655	261
営業外収益		
受取利息	9	7
受取配当金	52	87
負ののれん償却額	42	42
その他	33	39
営業外収益合計	137	177
営業外費用		
支払利息	53	43
固定資産処分損	1	2
その他	5	9
営業外費用合計	60	55
経常利益	732	383
特別利益		
入会預託金返還差額	14	—
特別利益合計	14	—
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	364	—
投資有価証券評価損	50	—
その他	5	—
特別損失合計	420	—
税金等調整前四半期純利益	327	383
法人税等	137	195
少数株主損益調整前四半期純利益	189	187
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△60	39
四半期純利益	249	147

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	189	187
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△272	△88
その他の包括利益合計	△272	△88
四半期包括利益	△83	98
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△23	58
少数株主に係る四半期包括利益	△60	39

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	放送事業	ハウジング 事業	ゴルフ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,488	2,085	211	18,785	—	18,785
セグメント間の 内部売上高又は振替高	88	12	1	101	△101	—
計	16,576	2,097	213	18,887	△101	18,785
セグメント利益又は セグメント損失(△)	545	122	△12	655	—	655

(注)1 調整額△101百万円は、セグメント間の取引消去金額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	放送事業	ハウジング 事業	ゴルフ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,882	2,177	203	18,264	—	18,264
セグメント間の 内部売上高又は振替高	115	5	2	123	△123	—
計	15,998	2,182	206	18,387	△123	18,264
セグメント利益又は セグメント損失(△)	97	174	△10	261	—	261

(注)1 調整額△123百万円は、セグメント間の取引消去金額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。

## 4.（参考）四半期財務諸表（個別）の概要

平成24年3月期第1四半期の個別業績（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

## (1) 個別経営成績

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期 第1四半期	14,825	△4.6	43	△92.1	162	△73.2	90	△67.9
23年3月期 第1四半期	15,537	△1.3	550	—	605	605.1	283	407.9

## (2) 個別財政状態

	総資産	純資産
	百万円	百万円
24年3月期 第1四半期	74,366	50,028
23年3月期	76,001	50,247

## (3) 個別売上高の内訳

	前第1四半期 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
テレビ放送事業収入				
タイム	2,864	2,900	35	1.3
スポット	8,654	7,915	△739	△8.5
番組収入	2,432	2,582	149	6.2
計	13,952	13,398	△553	△4.0
ラジオ放送事業収入				
タイム	334	356	21	6.4
スポット	333	331	△2	△0.6
番組収入	73	74	0	1.3
計	741	762	20	2.8
その他	843	664	△179	△21.2
合計	15,537	14,825	△711	△4.6

(注) 四半期財務諸表（個別）の概要の数値につきましては、法定開示におけるレビュー対象ではありません。